学校番号	２０６

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	『高等学校古典探究』（数研出版）						
副教材等	『グランステップ古典 2.5』（尚文出版）、『新装版　古文単語覚えるぞ 321』（尚文出版）、『読解をたいせつにする　体系古典文法』（数研出版）、『精選漢文』（尚文出版）、『プレミアムカラー　国語便覧』（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

国語力は、あらゆる論理的思考の基に位置すべき重要な骨格である。 単純な意思疎通のみに終始した生徒たちの柔弱な言語環境を生徒自らが主体的に脱し、真に気持ちの通い合うコミュニケーションの成立を目指せるよう美しい日本語を手本として、より高次の読解力・表現力を養うべく、教科書を中心とした授業を実施する。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。
【思考力、判断力、表現力等】
「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「読むこと」の領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古典などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで古典に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	随筆 ［教材］ 枕草子	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：周囲の女房たちの心情について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	日記文学 ［教材］ 紫式部日記、和泉式部日記等	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	逸話 ［教材］ 呂氏春秋、後漢書　等	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：伯牙が琴を弾くことをやめた理由について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
二学期	評論 ［教材］ 無名抄	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	物語 ［教材］ 源氏物語	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。 c：粘り強く引き歌の効果について考察し、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	史伝 ［教材］ 史記	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c：末尾の「天道是邪非邪」という表現にこめられた司馬遷の思いについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
三学期	歴史物語 ［教材］ 大鏡	a：古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 b[読]：必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況

	説話 ［教材］ 古今著聞集、唐物語	a:古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。 b[読むこと]:文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 c:登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況
	漢詩 ［教材］ 古体詩	a:古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 b[読]:関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 c:日本文化にも影響を与えた中国の風習について、積極的に考察しようとしている。	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・定期考査 ・ワークへの取り組み状況	・振り返りシートの記入 ・ワークへの取り組み状況

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　　）時間

・読むこと　…　（　７０　）時間